



# 令和7年度 やまぐち教育フォーラム

## やまぐち発信！未来につなぐ教育

# 令和8年2月6日(金)

開催要項

### 日程 【オンライン開催】

開会行事 9:40～9:50

発表Ⅰ 10:00～10:50

○自ら学習を調整する児童の育成をめざした小学校社会科の授業づくりに関する研究

○児童の自己調整力を育む授業づくりに関する研究

○博物館の「本物の魅力」を見て、触って、体験してワクワクする学びを拓げよう

発表Ⅱ 11:05～11:55

○自ら学びを調整し、学習内容を確実に理解することができる算数科における単元内自由進度学習に関する研究

○自己の思いや考えを深めて表現する書き手を育てる「書くこと」の授業づくりに関する研究

分科会 13:00～14:15

○生成AIを利用した授業を体験しよう！

○やってみよう！傾聴トレーニング－傾聴するってどんなこと？－

[※要事前申込](#)

○事例検討「こんなとき、どうする？」－子どもの困難さに目を向けて考えよう－

[※要事前申込](#)

全体会 14:30～16:00 **★全体会は県民の方も聴講できます！**

講演 「子どもが主役」になるとき  
～一人ひとりの可能性を拓く教育への挑戦～

講師 島谷 千春 氏 元加賀市教育長  
独立行政法人教職員支援機構審議役

閉会行事 16:00～16:10

### 対象 教職員、教育委員会関係者、大学関係者、県民（全体会のみ）等

・Web会議システム（Zoom）を用いて、同時双方向通信により実施します。

・部分的な参加も可能です。

※ただし、初任者研修の校外研修として参加される方については終日参加とします。

・当日の参加方法等については、申込者に特設ページにてお知らせします。

申込みは、当センター  
ウェブサイト内「やま  
ぐち教育フォーラム」  
のページから。



## ■ 全体会

### ■ 講演 「子どもが主役」になるとき ～一人ひとりの可能性を拓く教育への挑戦～



講師 前加賀市教育長  
独立行政法人教職員支援機構審議役  
島谷 千春（しまに ちはる）氏

#### 【プロフィール】

横浜市出身。2005年に文部科学省に入省。初等中等教育、国際、研究振興など担当。横浜市教育委員会、内閣府科学技術・イノベーション推進事務局への出向を経て、2022年10月より石川県加賀市教育長に就任。任期2年半の間に、「BE THE PLAYER」の明確な学校教育ビジョンを掲げ、旧来型の一斉授業から脱却し、市内全小中学校で子どもが主役となる学びへの転換を推進。2025年4月より教職員支援機構（NITS）審議役。著書に『BE THE PLAYER—自治体丸ごと学びを変える加賀市の挑戦』（教育開発研究所、2025年）。

#### スローガンは“BE THE PLAYER”

加賀市の教育改革を踏まえ、子どもを主役にした教育の可能性と、その実現に向けた挑戦についてお話ししいただきます。私たちの「教育観」や「子ども観」を改めて問い直し、子どもが主役となる教育の在り方や子どもの学びを伴走する大人（学校、保護者、地域等）の役割について考えていきましょう。

## ■ 参加申込について

- 申込期間 令和7年12月1日（月）～令和8年1月30日（金）
- 参加定員 400人  
**※定員になり次第、申込みの受付を終了しますので、お早めにお申込みください。**
- 申込方法 1. やまぐち総合教育支援センターウェブサイト（<https://www.center.g.ysn21.jp/>）にアクセスし、「申込関係」をクリックしてください。  
2. 「やまぐち教育フォーラム」のページを開き、申込フォームに必要事項を入力してください。  
※ 教職員、教育委員会関係者及び大学関係者用と県民用の申込フォームがあります。  
3. **申込み後に届く、受付完了メール（自動返信）を必ず確認し、当日まで保管してください。**  
※ 受付完了メールにおいて、本フォーラムに参加する際に必要な情報をお知らせします。

#### 【教職員、教育委員会関係者及び大学関係者】

- 所属長の承認を得たのちに、個人でお申込みください。
- 申込みの際は、以下の入力項目がありますので御用意ください。
  - ・個人メールアドレス（返信用に使用します。）
  - ・各発表の参加予定（参加人数の目安を把握します。）
  - ・分科会の参加申込

#### ※重要※

以下の分科会は運営の関係上、事前申込制となっております。定員になり次第、締め切ります。

- ・「やってみよう！傾聴トレーニング」（定員70人）
- ・「事例検討『こんなとき、どうする？』」（定員50人）

#### 【県民】

- 14:30～16:00の全体会のみの参加となります。
- 申込みの際は、個人メールアドレスを御用意ください。（返信用に使用します。）

## ■ お問合せ先

- フォーラム全般に関すること TEL 083-987-1290（企画室）
- 初任者研修に関すること TEL 083-987-1180（教育研修部）

# 発表・分科会の内容

## 発表 I

10:00  
～  
10:50

＜やまぐち総合教育支援センター長期研修＞  
自ら学習を調整する児童の育成をめざした小学校社会科の授業づくりに関する研究  
－学びの自己決定を促す学習計画表の活用を通して－

周南市立菊川小学校 教諭 大草 憲太郎  
教育支援部

◆「先生、次は何をしたらよいですか。」授業中、このような声が上がることはありますか？  
本校の児童も、教師の指示がなければ自分で学習を進めることができないという現状があります。そこで、学びの自己決定を促す学習計画表を活用することで、児童は自ら学習を調整し、主体的に学習に取り組むようになると考えました。本研究では、社会科において学習計画表を活用する場面を設定し、その効果や児童の変容について検証しました。

＜やまぐち総合教育支援センター長期研修＞  
児童の自己調整力を育む授業づくりに関する研究  
－学習状況を把握し学習計画を立てるための「つなぐシート」を使った振り返りを通して－

防府市立右田小学校 教諭 藤山 晋哉  
教育支援部

◆本校の児童は、自身の学習状況を把握し、学習内容のつながりを考えて学び方を調整することに課題が見られます。そこで、本時の学びを振り返り、見通しをもって学習できるようにする「つなぐシート」を作成し活用しました。児童が本時の学習内容や自分で決めた学び方を確認しながら学習に取り組むことや、授業の終末に振り返りと次時の計画を行うことを通して、学習状況に応じて学び方を自己調整する力を育むことをねらいました。

＜山口県立山口博物館長期研修＞  
博物館の「本物の魅力」を見て、触って、体験してワクワクする学びを拡げよう  
－博物館の資源を生かした、学校・地域との連携の取組－

山口市立白石中学校 教頭 西村 紀昭  
下関市立王司小学校 教諭 山本 政嗣

◆当館の博物館学校地域連携教育支援事業は、博物館がもつ物的・人的な教育資源を、学校教育や地域の社会教育活動に活用していただくことを目的としており、今年で22年目を迎えます。「本物」を見て、触って、その「魅力」を体験する学びの価値と効果を、より多くの学校や地域の団体に活用していただくとともに、博物館と学校・地域をつなぐ架け橋となるべく、出前授業やミニ博物館、教材の貸出、社会見学等に工夫を加え研究を進めています。

## やまぐち総合教育支援センターの公式SNSの御案内

Instagram



Facebook



様々な教育情報や  
センターの様子を  
配信しています。  
ぜひフォローを  
お願いします！



## 発表Ⅱ

11:05  
～  
11:55

＜やまぐち総合教育支援センター長期研修＞  
自ら学びを調整し、学習内容を確実に理解することができる算数科における単元内自由進度学習に関する研究－学習が苦手な児童を想定した単元計画・学習カードの工夫を通して－  
下関市立熊野小学校 教諭 松田 義広  
教育支援部

◆「自由進度学習が形式的になってしまふ。」そんな悩みはありませんか？本校では、令和5年度より、「自立（自律）した学習者」をめざし、単元内自由進度学習に取り組んできました。児童が自ら学びに向かうようになった一方で、学習内容の理解に課題が見られました。そこで、学習が苦手な児童を想定した単元計画や学習カードの工夫を通して、学習内容の理解も伴った算数科における単元内自由進度学習の在り方について検証しました！

＜やまぐち総合教育支援センター長期研修＞  
自己の思いや考えを深めて表現する書き手を育てる「書くこと」の授業づくりに関する研究  
－構想段階における作文カンファレンスの工夫を通して－

宇部商業高等学校 教諭 笹田 麻実  
教育支援部

◆生徒の書く文章が何となく「もの足りない」…その原因是、もしかしたら、文章力ではないのかもしれません。本研究では、文章を書く《前》に「作文カンファレンス」と呼ばれる話し合い活動を取り入れ、「思いや考えを深める」ことをめざしました。活動の工夫として、「定義」「焦点化」等の思考の方略をカード化して使っています。対話による思いや考えの深まりと、それによって変化した生徒の文章を、授業実践の分析を交えて報告します。

○生成AⅠを利活用した授業を体験しよう！

やまぐち総合教育支援センター 教育支援部

・生成AⅠを利活用した模擬授業

[指導助言者]

山口大学教育学部 教授 鷹岡 亮 氏

◆教育支援部では、生成AⅠの利活用による児童生徒の資質・能力の育成に関する調査研究を行っています。分科会では、模擬授業（中学校理科）を通して、授業における生成AⅠの利活用について、参加者のみなさんと考えを深めていきたいと思います。

○やってみよう！傾聴トレーニング  
－傾聴するってどんなこと？－

やまぐち総合教育支援センター 子どもと親のサポートセンター

・傾聴とは  
・傾聴トレーニング

◆日々、子どもと関わる中で、傾聴が大事だとは思っているけど…そもそも、傾聴するってどんなこと？そんな皆さんの疑問にお答えします。本分科会は「ほんものの傾聴を学ぶ」の著者である諸富先生の傾聴講座です！ぜひ、御参加ください♪

[講師]  
明治大学 教授 諸富 祥彦 氏

【定員70人・先着順】

○事例検討「こんなとき、どうする？」  
－子どもの困難さに目を向けて考えよう－

やまぐち総合教育支援センター ふれあい教育センター

・事例提供  
・グループディスカッションⅠ  
・指導助言Ⅰ  
・グループディスカッションⅡ  
・指導助言Ⅱ

◆「どうしてこんな行動をするのかな？」子どもの行動の背景にある困難さに目を向けて、よりよい支援を一緒に考えてみませんか？明日からの支援に活かせるヒントがきっと見つかります！

[講師]  
ふれあい教育センター 部長

【定員50人・先着順】

## 分科会

13:00  
～  
14:15

## 発表Ⅲ

ふれあい教育センター 部長